

理科 小学校第6学年 ⑥
【活用問題】

「大地のつくりと変化」	() 組番	氏名
-------------	--------	----

マヤさんとアユミさんは、休日に宮崎県総合博物館に行きました。そこで、「大地のつくり」について学習したことをもとに、宮崎県に見られる地形などについて、学芸員の方に質問をしてみました。

はじめに興味をもったのは、正面玄関の横に展示してある「メガロドンの化石を含む岩石」です。



【宮崎県総合博物館】



【メガロドンの化石を含む岩石】

大きな岩石の中に、数えきれないほどのメガロドンの化石が入っていることにびっくりしました。この化石は日之影町で見つかったと説明にありました。メガロドンはどんな生き物だったのですか？

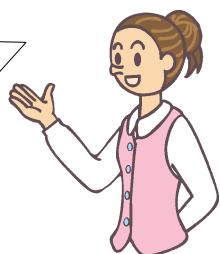


マヤさん

メガロドンは、約2億年以上前にサンゴ礁があるような場所で生きていた二枚貝です。かみ合わせのための大きな突起と厚い殻があるのが特徴です。

この大きな岩石の中には、たくさんのメガロドンの化石が入っています。

メガロドンが生きていたころは、この場所はどんなところだったのか、想像してみてください。



学芸員の方

- (1) メガロドンが生きていたころ、この場所はどんな様子だったのでしょか。下のア～ウの説明の中で適切なものを1つ選び、記号で答えましょう。
- ア あたたかくて、浅い、きれいな海の底
イ 寒くて、高い山の上
ウ 海から遠く、乾燥した陸地

アユミさんは、宮崎県内の地形の中で、青島の「鬼の洗濯板」のでき方について学芸員の方に質問をしました。



アユミさん

鬼の洗濯板は、砂が固まってできた岩石（砂岩）の層とどろが固まってできた岩石（でい岩）の層が交互に重なっていますね。

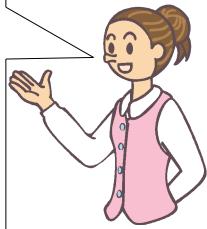
このような地形は、どのようにできたのですか。



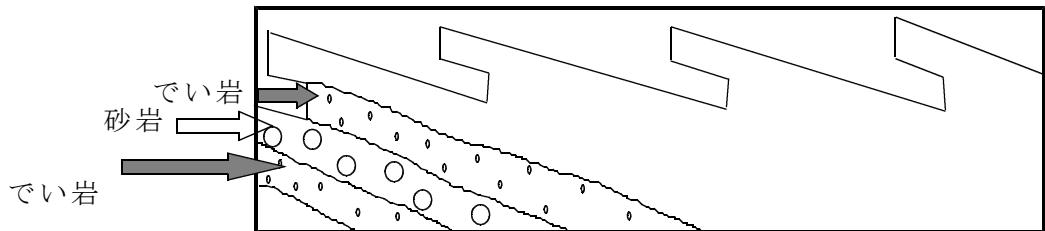
【青島の鬼の洗濯板】

地震などによって、砂と泥がまざった土砂が海底に流れ下りると、砂粒は重いので早くしづみ、砂と泥の層に分かれます。その後、地震などがない期間も、泥は海底に積もりつづけ、1セットのしま模様ができます。長い年月これをくり返して、かたい砂岩とやわらかいい岩が規則的に重なった地層ができました。

その後、地層がもり上がりいくときに傾きました。その地層が波にけずられ、現在のような美しい地形ができあがりました。



(2) 青島の「鬼の洗濯板」の地面の下のようすを想像して図にかきましょう。



総合博物館の2階の入り口に、地下の様子の展示がありました。マヤさんとアユミさんは、近所で見かけるオレンジ色の地層を見つけました。



オレンジ色の地層は、私たちの家の近くにもあるよね。これは何だろうね。

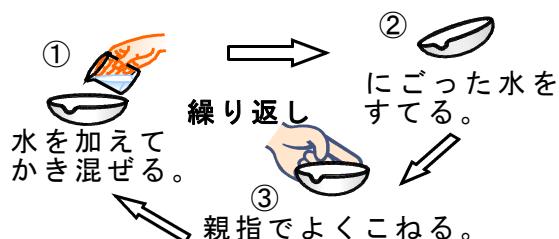
学芸員の方から、この土をとって、よく洗って、けんび鏡で見ると分かると言わされたよ。



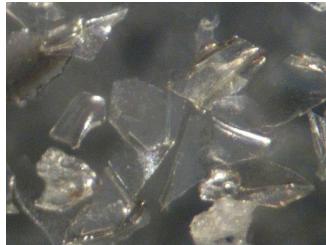
【オレンジ色の地層】

2人は、オレンジ色の地層から土をとり、その土を下の方法でよく洗って、けんび鏡で観察すると、写真のようなものが見えました。

観察



けんび鏡で観察した結果



角ばった形のものが多いい。どうめいなかけらのようなものもある。

(3) 観察した結果から、マヤさんとアユミさんは、オレンジ色の地層はどのようなものが積もってできたのかを、下のようにまとめました。文中の()にあてはまる言葉を書きましょう。

【考察】

オレンジ色の地層からとった土をよく洗って、けんび鏡で観察したら、角ばった形のものがたくさん見えた。どうめいなかけらのようなものもあったので、オレンジ色の地層は、()が積もってできた地層だと考えられる。